

2026 年 1 月 23 日

各 位

WOWBIT (WWB) の Solana ネットワーク対応に関するお知らせ
～連結孫会社による EVM-SVM ブリッジ機能「HASHI」の開発完了～

当社の連結孫会社である Metabit Sdn. Bhd.（本社：マレーシア）が開発した、EVM^{※1}（Ethereum Virtual Machine）と SVM^{※2}（Solana Virtual Machine）間を接続するブリッジ機能サービス「HASHI」が完成したことにより、当社が戦略的パートナーとして参画している WOWOO プロジェクトにおいて、同プロジェクトのネイティブトークンである「WOWBIT (WWB)」が Solana（ソラナ）ネットワーク上での発行に対応可能となったことをお知らせいたします。

本件は、マルチチェーン環境におけるトークン活用の柔軟性および技術的拡張性の向上を目的とした取り組みの一環です。

※1 EVM (Ethereum Virtual Machine)

Ethereumをはじめとする多くのブロックチェーンで採用されているスマートコントラクト実行環境。

Ethereum、Optimism、Arbitrum、Polygon など、互換性のある複数のチェーンで同一のプログラムを動作させることが可能。

※2 SVM (Solana Virtual Machine)

Solana ブロックチェーン上で採用されている独自の実行環境。並列処理を前提とした設計により、高速かつ低コストなトランザクション処理が可能とされている。

1. 「HASHI」について

「HASHI」は、異なるブロックチェーン実行環境である EVM 系チェーンと SVM (Solana) を接続し、トークンを相互に移転可能とするクロスチェーン・ブリッジ機能^{※3}サービスです。

ブリッジ処理においては トークンの総供給量および流通量の整合性が常に維持される設計を採用しています。

主な技術的特徴は以下のとおりです。

- 移転元チェーン上のトークンを専用ボールドにロックし、移転先チェーン上で同数量のラップドトークンを 1:1 で発行
- 逆方向の移転時には、移転先チェーン上のラップドトークン※4 をバーン（焼却）し、ボールド内の元トークンをアンロック
- 総供給量および流通量の整合性を常時担保
- 既存のクロスチェーン技術と同様の概念を持ちつつ、比較的シンプルな構成により、効率的な運用を可能とする設計

なお、「HASHI」は現時点では、abc グループにおいて管理・運用されるインハウス用途（社内利用）を前提とした技術基盤として開発・運用されており、第三者が自由に利用可能な公開サービスではありません。

※3 クロスチェーン・ブリッジ

異なるブロックチェーン間で資産やデータを移転するための仕組み。本件では、元のトークンをロックし、移転先で同等のラップドトークンを発行する方式を採用している。

※4 ラップドトークン

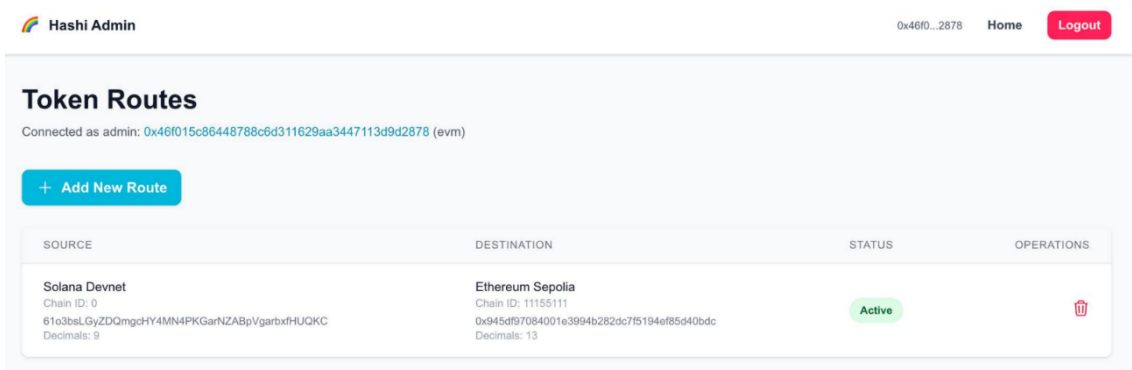
他のブロックチェーン上の資産を裏付けとして発行される代替トークン。1:1 での裏付けを前提とし、元資産の価値と連動する。



Move Across Chains

Hop, skip, bridge your tokens.

The screenshot displays the Hashi mobile application interface for moving tokens across chains. The 'From' section is set to 'solana' and shows a connected wallet 'Bkcc...P17J' with a 'Disconnect' button. Below this, the 'Token Address (SVM)' is '61o3bsLGyZDQmgcHY4MN4PKGarNZABpVgarbxfHL' and the balance is 'Bal: 0'. A downward arrow indicates the transfer direction. The 'To' section is set to 'Ethereum Sepolia' and shows a 'Not connected' status with a 'Connect' button. The 'Destination Token' is '0x945df97084001e3994b282dc7f5194ef85d40bdc'. A green button labeled 'DEPOSIT: deposit → mint' is visible. At the bottom, the 'Amount' is '0', with 'Source: 9 decimals' and 'Dest: 13 decimals' noted. An 'Enter amount' button is at the very bottom.



2. WOWBIT (WWB) の Solana 対応について

WOWBIT (WWB) は、「HASHI」の完成により、Optimism メインネットから Solana ネットワークへのブリッジが技術的に可能となり、Solana ネットワーク上での発行に対応可能となりました。

当該ブリッジ処理（トークンのロック、発行、焼却等）は、クライアントの意向およびプロジェクト方針に基づき、インハウス用途として運用されている HASHI を、当社連結孫会社である Metabit Sdn. Bhd. を中心とした体制により管理・運用し、実施されます。

3. 今後の展望

当社は、連結孫会社である Metabit Sdn. Bhd. による技術開発力を背景に、マルチチェーン環境に対応した基盤技術の高度化を進めるとともに、Web3 領域におけるトークン活用の柔軟性および可能性の拡張に寄与していくことを目指しております。

今後は、プロジェクト主体である WOWOO PTE. LTD. をはじめとする関係者との連携のもと、技術的成熟度や市場動向等を踏まえながら、マルチチェーン技術の活用可能性や新たなユースケースへの展開について検討を進めてまいります。

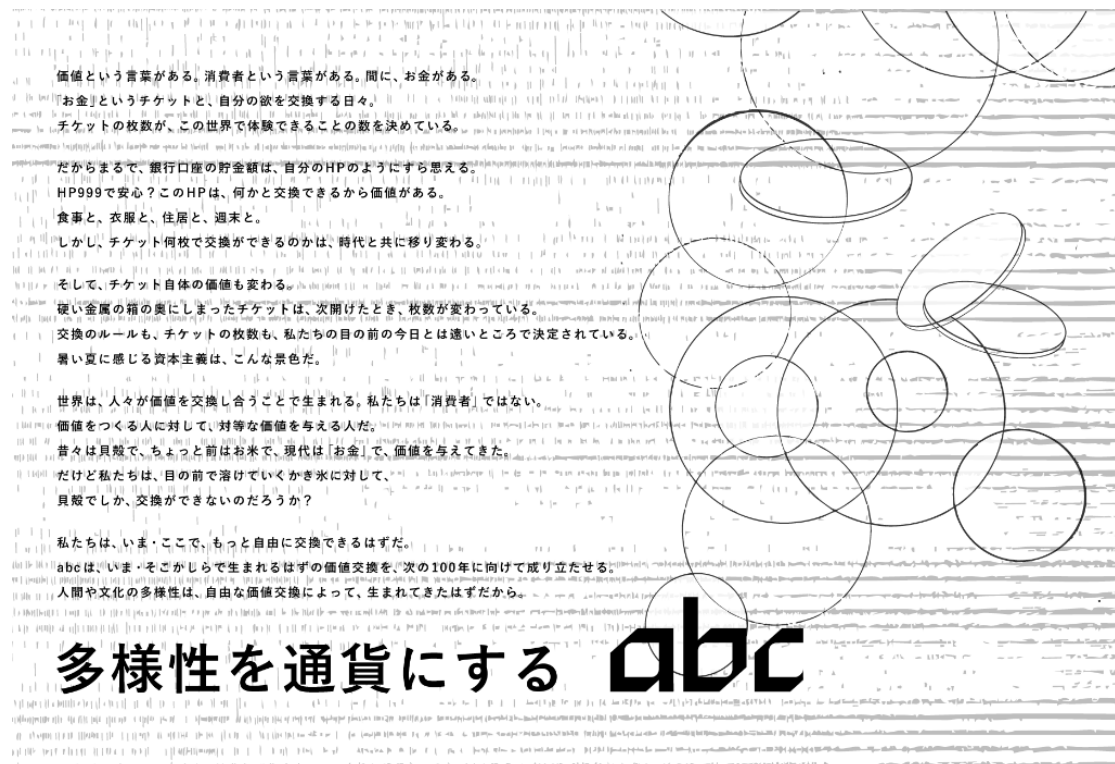
当社は引き続き、戦略的パートナーの立場から、技術面・思想面での支援を通じて、健全かつ持続的な Web3 エコシステムの発展に貢献してまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本契約は、現時点で特定の投資・発行・購入・販売等を義務付けるものではなく、今後の個別プロジェクトごとに契約を締結し、各社の内部承認を経た上で実行されるものです。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違うところで決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちよつと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくお米に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま、そこらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上